

子育て支援員のお仕事紹介

いわゆる学童保育

A. 放課後児童クラブの補助員から 放課後児童支援員へ

放課後児童クラブは、就労などの理由により、日中、家庭に保護者がいないような、小学校に通学している子どもに対して、適切な遊びや生活の場を提供。主に小学校の放課後に、児童館や学校の余裕教室などを利用して、子どもの健全な育成を手伝う場所としての役割があります。子どもたちは帰宅までの間、宿題をしたり、おやつを食べたり、ほかの子どもたちと遊んだりして過ごし、学校とも家庭とも違う環境で社会性を育みます。そして、放課後児童支援員と補助員は、子どもたちが豊かに育つ環境が得られるよう支援し、子ども一人ひとりの成長をサポートします。

「放課後児童クラブの補助員」は、国の資格を持つ「放課後児童支援員」をサポートするお仕事です。

補助員として経験を積み、都道府県が実施する「放課後児童支援員認定資格研修」を受けることができるため、補助員は放課後児童支援員の資格を得るステップのひとつとなります。

放課後児童支援員認定資格研修 [受講できる対象者の例]

- ・保育士、社会福祉士、又は教育職員免許（幼稚園、小学校、中学校、高等学校などの教諭）の資格がある方
- ・大学などで社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学、又は体育学を専修する学科を卒業した方
- ・高等学校卒業業者等で2年以上児童福祉事業（放課後児童クラブを含む）に従事した方
- ・学歴を問わず、5年以上放課後児童クラブに従事した方など

【具体的な業務内容：1日の流れ】

- ▶子どもが来る前の事務作業
(保護者へのお便りの作成など)
- ▶子どもの迎え入れ ▶宿題サポート
- ▶おやつ時間 ▶遊びの時間
- ▶帰りの会 ▶お見送り



困ったときに助かる

B. ファミリーサポートセンター提供会員

ファミリーサポートセンターは、育児や家事を手伝ってほしい子育て家庭（依頼会員）と、それを手伝いたい地域住民（提供会員）を結び、子育ての相互援助活動の仲介をする組織です。乳幼児や小学生を持ち、育児の援助を受けたい依頼会員、子育てを支援したい提供会員それぞれの条件と希望に合った会員を紹介しています。

提供会員は、保育所までの送迎や放課後に子どもを預かる、保護者の病気・急用時（看病、看護、冠婚葬祭等）の預かり、育児疲れのリフレッシュを希望する場合の預かりなど、様々な場面で依頼会員の子育てをサポートします。



子育てのアドバイザー

C. 地域子育て支援拠点職員

地域子育て支援拠点は、公共施設や保育所、児童館等の地域の身近な場所で、乳幼児のいる子育て中の親子の交流や育児相談、情報提供等の支援を行う場所で、地域の支え合いや子育て中の親同士による支え合いなど、地域の子育て力の向上を図る場所でもあります。3歳未満の子育ての多くが家庭での子育てであることや、地域のつながりの希薄化から子育ての孤立化と子育ての不安感が大きくなったことから設けられています。

地域子育て支援拠点で働く職員は、子育てしている家族の交流促進や子育てに関する相談やサポート、地域の子育て関連情報の提供、子育て支援に関する講習会などの仕事を行います。

